

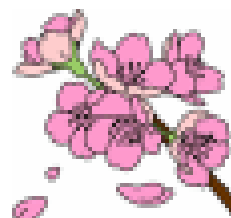


落羽松

観音寺市立観音寺東小学校
平成23年度学校だより 第11号
2012年 3月15日

もう、明日は卒業式です。「光陰矢の如し」とはよく言ったもので、はや6年生の子どもたちとの別れの時が来てしまいました。分かっていたこととはいえ、心の中に寂しさを覚えます。明日の式典は、卒業する45名の子どもたちとご家族の皆様にとって、いつまでも思い出に残り、人生に夢と希望のもてる素晴らしいものしたいと思います。中学校では、6年間本校で育ち学んだ力を存分に発揮して、力強く堂々とそれぞれの人生を歩んでくれることを祈りたいものです。

さて、いよいよ平成23年度も間もなく終わりを迎えます。この1年間、私たちは、教育目標“夢の実現に向けて 心豊かに たくましく生きる子どもの育成”に向け、“チーム観東”を合い言葉に全力で取り組んできました。子どもたちの生き生きと輝く姿から、私たちは、目標に大きく近づいてきていることを実感することができました。以下、本年度の主な成果と課題について報告いたします。



- 県学習状況調査（3年生以上の学年で実施）では、ほとんどの学年と観点で県平均を上回りました。
- △ 2学期末の月末テスト（漢字の読み・書き・計算）の平均合格率は92%でしたが、計算の合格率は86%と、課題も見えてきました。
- 音声化への取り組みから、元気な声で意欲的に発言したり、自分から進んで挨拶できたりする子が増えてきています。
- ホームワークノートの目標達成率100%を記録しました。県学習状況調査によると、基礎学力の定着と家庭学習には、相関関係があるそうです。また、日常のノート点検を通して、文字を丁寧に書く子は、学力が高い子が多いということも分かってきました。
- △ 運動能力や体力づくりの二極化が解消できません。今後、年間を通した指導計画を見直します。
- 学級集団作りや異学年交流などを通して、他者を思いやる心や個性を認め合う心などが育ち、温かな人間関係が築かれてきています。

学校関係者評価委員の皆様からいただいた声を一部紹介します

- ・継続することで学力の向上、集中力、粘り強さが培われる。新小学校に受け継いで欲しい。
- ・知らない人には挨拶できないものだ。地域の中でも交流し顔見知りになると挨拶ができる。交流を通して心理的距離を縮めることが重要だ。
- ・大変落ち着いた雰囲気の中で授業ができています。「当たり前のことが当たり前ができる」良さを学校の伝統として欲しい。
- ・先生の優しさや人柄は、子どもたちに必ず通じる。地域の者として感謝したい。

学校保健委員会の開催

2月27日（月）の夜、スクールカウンセラーの藤原晴海先生をお招きし、第2回学校保健委員会を開催しました。先生は、数多くの相談活動や研究から見てきた気になる子どもたちへの接し方について、事例を挙げながら丁寧にご指導くださいました。

特に、外向型と内向型という性格特徴の説明からは、「教育とは、ある意味で内向型の子どもを外向型に、外向型の子どもを内向型にする試みである。内向型の子どもだからこそ学校に来させなければならない。」というご発言には、大いに共感できました。また最近増加傾向にある様々な発達障害児童への対応については、得意なことを伸ばしながら少しずつ自尊感情を高めていくような指導が効果的であるなど、気持ちを受け入れることの大切さを学ぶことができました。



『新ちゃんがないた』のビデオを見て

2月24日（金）に実施した「なかよし集会」では、授業参観後に視聴したビデオの感想を、代表児童2名が全校生の前で発表しました。

ぼくは、「新ちゃんがないた」を見て、最後の場面としょうご兄さんの話が心に残りました。しょうご兄さんは、自分の状況を受け入れ、さらにそれを乗り越えて他の人に笑って話をしていました。そして新ちゃんもその人の話を聞いて泣かなくなりました。



最後の場面のお母さんの話を聞いて、ぼくは、障がいのある人は特別にされるのではなく、みんなと同じように生きたいんだと気づきました。新ちゃんは、心が強くなったなあと思いました。

新ちゃんが泣いたのは、つらいからでも感動したからでもなく、みんなが自分の気持ちを分かってくれてうれしかったんだと思いました。

ぼくは、周りの人の気持ちを考えられる人になりたいと思います。 6年月組 K. S



新ちゃんは、足が不自由だけど歯を食いしばって立ったり、歩いたりできるようにいっしょうけんめいがんばって、あきらめないで練習を続けていたのでとてもすごいと思いました。何でも努力したら、できるということが分かりました。

新ちゃんは、はじめ、ないてばかりいたけど、高校生のお兄さんが「ないていいことがあるならなけばいい。」ということを書いてくれて「もうなかない」と決めた強い心ががんばる気持ちにつながったんだと思います。

もし、わたしたちのまわりに体の不自由な人がいたら、やさしく声をかけたり、何か手伝えることがあったらおうえんしたりしたいです。 3年月組 O. M

6年生を送る会から



<6年生と一緒に楽しいゲームを>



<一人一人からプレゼントを>

お世話になった6年生への感謝の気持ちを伝えるために、3月5日（月）、「6年生を送る会」を実施しました。残念ながら、インフルエンザでの欠席者が多かったため4年生は参加できませんでしたが、春を思わせる陽気の中、とても楽しい時間を過ごすことができました。

6年生と一緒に「ふれあいゲーム」や「全校合唱・全校ゲーム」で楽しんだ後は、手作りの「まごころプレゼント」を渡し、感謝の気持ちを伝えました。

また当日は、社会福祉協議会の橋川様と滝本様もご臨席いただき、協議会から6年生への卒業記念品の贈呈も行われました。ありがとうございました。

